

## 第14次B地点調査の概要

### どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

### いつ（調査期間）

平成7(1995)年3月27日～5月19日

### だれが（調査した人）

赤坂遺跡調査団

### 調査概要

- 所在地 神奈川県三浦市初声町三戸字ハタ246番4外1筆  
調査面積 625㎡  
調査原因 宅地造成工事に伴う調査  
主な遺構 住居址16軒・方形周溝墓の溝と考えられるもの2条・  
土壇5基  
主な遺物 壺形土器・石剣1点・石鏃3点・銅鏃1点・銅釧片1  
点・勾玉3点・炭化物・獣骨片  
特記事項 住居址の大部分は弥生後期であるが、4号住居址のみ  
が弥生中期のもので、今回の調査地点で最も大きな規模  
をもつものである。住居址南側の出入口付近に床面を掘り  
こんだ小ピット中より1個の壺形土器が検出されたが、  
胴部中には粘土の貼り付け文がみられ、極めて珍しい例  
である。方形周溝墓の溝中から**多くの土器片**や自然遺物  
なども出土している。（参考文献：『赤坂遺跡第14次  
(A・B地点)調査概報・1995年6月』）



第14次B地点調査の遺跡全景写真（左・右）。弥生時代中期宮ノ台期の竪穴住居址1軒、後期久ヶ原期の竪穴住居址14軒、古墳時代前期五領期の竪穴住居址1軒が発見された。また、方形周溝墓の溝と考えられるものも2条発見された。（所蔵：三浦市教育委員会）



方形周溝墓の周溝より出土した土器  
(所蔵：三浦市教育委員会)